

# 総合研究機構

## 分子関連相乗系研究部門研究会

### 研究紹介プチセミナー

開催日時：平成27年 2月 21日（土）

16:00～16:40

開催場所：東京理科大学

森戸記念館第一フォーラム

講師：宮本 悦子 先生

所属・職名：生命医科学研究所 准教授



**演題：「個の医療に向けたIVVディスプレイ法を基盤としたメタインタラクトーム同定と制御の研究」**

**概要** 要：次世代シーケンサの登場により、1,000ドルで個人の全ゲノム配列が得られるパーソナルゲノム時代が到来した。臨床現場においても、次世代シーケンサによる個の医療（パーソナル医療）が始まっている。独自技術である進化分子工学のツールであるIVVディスプレイ法を活用して臨床現場に役に立つインタラクトーム解析技術を目指している。具体的には、がん幹細胞や免疫に関わるメタインタラクトーム解析（動的解析）から、標的たんぱく質同定とその検証を進めている。今後は、標的たんぱく質同定のみならず、標的たんぱく質のネットワーク制御の新技术を確立し、疾患の治療や創薬を目指して行く。

**略歴** 歴：東京理科大学理学部化学科（田丸研）卒業後、日本IBMを経て、東芝情報通信研究所において高機能材料の研究に従事。1995年から三菱化学生命科学研究所で大学院時代を過ごし、進化分子工学のツールとしてのIVVディスプレイ法を創生した。1997年から2年間、アメリカ東部ピッツバーグのカーネギーメロン大学(CMU)に留学し、分子生物学と生命科学を学んだ。2000年に、IVVディスプレイ法で、横浜国大工学研究科から博士(工学)が授与された。2000年から慶應義塾大学理工学研究科に従事し、助教、講師、准教授を経て、文科省振興調整費やゲノムネットワークプロジェクトに参加。2011年4月から、東京大学医科学研究所特任准教授としてインタラクトーム医科学部門の部門長に従事。2014年10月より現職。